

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成27年9月17日 (2015.9.17)

【公開番号】特開2015-142549(P2015-142549A)

【公開日】平成27年8月6日 (2015.8.6)

【年通号数】公開・登録公報2015-050

【出願番号】特願2014-158037(P2014-158037)

【国際特許分類】

C 1 2 P 19/14 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 15/00 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 9/26 (2006.01)

C 1 2 N 1/20 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 P 19/14 Z

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 N 15/00 Z N A

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 9/26 Z

C 1 2 N 1/20 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月13日 (2015.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記 (a) および (b) の核酸を 1 のポリペプチドとして発現させた大腸菌、当該発現させた大腸菌の死菌を含む組成物または当該発現させた大腸菌から得られたポリペプチドであって下記 (b) の核酸にコードされるアミノ酸配列を含むポリペプチドに、末端にフルクトース残基を含む糖質および受容体基質を接触させる工程を有する、フルクトースが付加された糖質の製造方法；

(a) 配列番号 6 に示す P g s A タンパク質のアミノ酸配列または配列番号 3 4 に示す C a p A タンパク質のアミノ酸配列のいずれかと 4 5 % 以上の同一性を有するアミノ酸配列であって、下記 (b) の核酸にコードされるアミノ酸配列からなる β - フルクトフラノシダーゼを大腸菌の細胞表面に発現させるアンカータンパク質の機能を有するアミノ酸配列をコードする核酸、

(b) β - フルクトフラノシダーゼのアミノ酸配列をコードする核酸。

【請求項 2】

下記 (a) および (b) の核酸を 1 のポリペプチドとして発現可能に含む大腸菌または下記 (a) および (b) の核酸を 1 のポリペプチドとして発現させた大腸菌；

(a) 配列番号 6 に示す P g s A タンパク質のアミノ酸配列または配列番号 3 4 に示す C a p A タンパク質のアミノ酸配列のいずれかと 4 5 % 以上の同一性を有するアミノ酸配列であって、下記 (b) の核酸にコードされるアミノ酸配列からなる β - フルクトフラノシダーゼを大腸菌の細胞表面に発現させるアンカータンパク質の機能を有するアミノ酸配列

をコードする核酸、

(b) β -フルクトフラノシダーゼのアミノ酸配列をコードする核酸。

【請求項3】

下記(a)および(b)の核酸を1のポリペプチドとして発現させた大腸菌の死菌を含む組成物；

(a) 配列番号6に示すPg s Aタンパク質のアミノ酸配列または配列番号34に示すCap Aタンパク質のアミノ酸配列のいずれかと45%以上の同一性を有するアミノ酸配列であって、下記(b)の核酸にコードされるアミノ酸配列からなる β -フルクトフラノシダーゼを大腸菌の細胞表面に発現させるアンカータンパク質の機能を有するアミノ酸配列をコードする核酸、

(b) β -フルクトフラノシダーゼのアミノ酸配列をコードする核酸。

【請求項4】

下記(a)および(b)の核酸を1のポリペプチドとして発現させた大腸菌から得られたポリペプチドであって下記(b)の核酸にコードされるアミノ酸配列を含むポリペプチド；

(a) 配列番号6に示すPg s Aタンパク質のアミノ酸配列または配列番号34に示すCap Aタンパク質のアミノ酸配列のいずれかと45%以上の同一性を有するアミノ酸配列であって、下記(b)の核酸にコードされるアミノ酸配列からなる β -フルクトフラノシダーゼを大腸菌の細胞表面に発現させるアンカータンパク質の機能を有するアミノ酸配列をコードする核酸、

(b) β -フルクトフラノシダーゼのアミノ酸配列をコードする核酸。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】配列表

【補正方法】変更

【補正の内容】

【配列表】

2015142549000001.app